

H28 妙高西条農園たより NO. 4

平成28年7月20日 (7月号)

先月号でもふれましたが、今年の冬の降雪量の少なかったことと、春先からの降雨量の少ない日が続いたことで、関川の上流部にある笹ヶ峰ダムの貯水量が少なくなってきたことから、7月に入り1日おきに用水の取水制限が行われてきました。この時期は圃場の中干しも終了し、出穂前の稲にとっては一番水の必要な時期のため、このまま用水の使用制限が行われると収穫にも影響がでるのではと、心配されましたが、7月中旬から新潟でも降雨量の多い日が続いたため、用水の取水制限もなくなり、圃場に十分な水の取り入れが出来ることに成り安心しています。

7月17日に関川上流部の状況調査に行ってきました。

笹ヶ峰ダムの貯水量は、ほぼ満水の状況でした

苗名滝の大水量の状況



これまで、美味しいお米を作るため、色々なことを取り入れてきましたが、今年は新たに有機肥料とケイ酸土壌改良材を使用したほか、おおよそ50a(3箇所)の圃場に、従来から使用してきた、「HB-101」を圃場の取り入れ水口から、点滴流し込みを数回行いました。また、別の圃場30a(3箇所)ではスギの蒸着液にニガリ、アミノ酸等を加えた「ウットンバイオスター」の点滴流し込みを数回行い、その後動噴を使い100倍液の散布を行いました。更に別の圃場50a(3箇所)では根・穂に活力をあたえ倒伏防止と食味アップに効果があるとされる「ファイト・アップ」を使用しました。それぞれの圃場の効果および結果を収穫後分析したいと思います。

圃場水取り入れ口からのHB-101点滴投入状況

投げ込み前のファイト・アップ



定点観測(稲丈が60cm)状況

ウットンバイオスターの点滴投入と動噴散布の状況



定点観測地点の稲株数が25~30本に分けつきました。

稲刈りとハサかけの体験ツアー募集について

米作りを体験してみたいとの、ご意見が多くあることから、今年の収穫期に稲刈りとハサかけの体験ツアーを企画してみることとしました。時期は9月20~30日の間で1泊2日で計画しますので、ご都合のよい日等を事前に連絡下さい、皆様のご希望を入れながら企画書作成しを8月号で連絡したいと思います。

● お米を利用いただいている皆様からの「感想、意見、要望」等を募集しています。よろしくお願い致します。

発行者: 〒944-0023 新潟県妙高市西条755

妙高西条農園長 池田博子

☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908

URL: <http://www.kanta.jp> E-mail: ikeda@kanta.jp

営業広報担当: 池田 肝太

携帯: 090-7225-2238